

「今日一日」が、有り難い。（縁起なるがゆえに）

岐阜教区第5組願教寺 長島 秀賢

「今日一日」が、有り難い。これは、ある女性とお会いするたびに、その方から聞かせてもらえる言葉です。

ある時「それは、どういう意味なんですか。」とお尋ねすると、こういう返事が返ってきました。

「私は平均寿命を超えて長く生かさせてもらっています。平均寿命を超えたということは、私はいつ死んでいてもおかしくない。もっと言えば、死んでいるのが当たり前ということだと思います。それなのに、今朝、目が覚めました。今日一日を生かさせてもらえることが嬉しくて阿弥陀様に手を合わせて南阿弥陀仏、南無阿弥陀仏、と喜ばせていただいているんですよ。」

（若い頃、現役で働いていた頃は、忙しくて忙しくて阿弥陀様に手を合わせる時間さえも惜しんだことでした。今では阿弥陀様が私の一番のお友達ですよ。「お友達」という言い方をするのは、勿体ないことですがけれども）。」

いかがでしょうか。

『仏法には、明日ということは、あるまじき由』蓮如上人のお言葉です。

「あるまじき」。あるはずがない明日をあてにして、本当に大切なことを見失っていないか。わが身を省みながら味わわせていただいています。